る誰根 一銘ンつ習待ますき正を時私のに動皆集自業学() 。ま直増期はでモでさま分を習十**黄**

理

0 為

事

前

下名よ定月**の伝**

約 が **た**

い開

四十七六

日日日日

金火

名書業め

全

校

集

会

私大開

立会始

学

校

入

試

日

月

のやの十 Pっ伝三

をもにされな努基はを大 れかけ力本大見



圡

`しチはんりた大を `に学ち切す月**の** つば**咲**有の好うま体に努を多動金う | こ好習だにる る・し人女まられが力地標は**せか**名金のるす連は力出く量のかシの評すけ進 勝大くして、ないのでは、では、ないでは、一般である。 のは四。3時でるでめて、「大いにしのは四。3時でるでめて、「大いにしのは四。3時でるである。」 3時でるでめ学校 ダ期け黄会春見 大自ヶ十ン期す 「自て力で リだの金に季合体筋ず月一をか ° 燦習い充は カハイロリンギャックシュタスク **パスと母の向人 シカロこと 1000 にこを | まと | 先人ま事根根がかていあト考礎四け会た向動減思かげ厳方りすい いずの戦せを加を、サートのことをもがは Fをつつらて実実学る と基の向大つ力活とと月あら一たをま実文 りのえ体ケたが結上をつつらて寒寒学る。間ま高まカ月本始果を行てて年活期い習こ職」 す。橋すとの気まを実うきい明動に冬夕と員と 逞今モり発感こままけし向季イや会題わ |新揮すとすすのてけをム

氏ドいハド年しるでが "二いてひ -部のて -心しの度でご `寒月けどかも活時毎安 座 | をド日にくと身運いまばのえ生動に日定 右オ身な々はれが体動こでいよ部徒毎生のし のリに練が までは量のをいう活のに徒授た

しボ ツ開 ん ざ て北

てく いく尾君 まれさ恵れテにれ荒 てんさま イ本た尾 運んしア校っ市 たとかふ民 あ営 • りの黒 しられ体

会に 晴が協田梅て四あ育 らと力さ本活名い館 しうをんさ動がピ

イ アふ _活れ あ 動 ありがと y

七五四十九七六四三二四

金水火金木火月

め業会学も修

冬徒イり

就

仼

式

 σ

頭

導

(給

食

あ

ŋ 九

縄

S

会ム教弁

尾 市

> 中 強い意思 豊かな心 確かな学力

校

訓

第 尾

四中便り

発行責任者 校長 中島恒士



尾 育 会 し前事力 た。や でのOい 义 ਰੇ • 下 協力お願い •

年生、長宮 た。芸術の話、長濱亜 版 I 画 デザ 希 術 さんがな 展 本の 賞ま はし 画の部 美いし 術二ま特三か

作和元年版 税を考える通知 Eの「税についての作文」最影式

た長髙り管一 **、** 。賞岡ま内六**作税** おを樂し作日文に 受君た。 文 文 **. 荒つ** 表玉**尾い** 三彰名市で し荒年式税長の ま尾生が務賞 し市のあ署

くでの伝方す歩 行為統の。会

行為統の

いにのご

ま事行協一

なた方A練のや急たま行本訓の幡日 るだ等のを先消ボ わ校練防校 訓き炊方行生防ラ救しれでが災区

練まきやい等署 し出Pま有のテ しTし事方 でAたに 。備学の た協O め力BPえ校方 にいのT訓医々



荒 尾 防市 災総 練実

施

事

土金木水 荒校学仕**行**仕冬全燦三二二土強一三燦世尾内校事**行**事季校た年年年曜歩年年た界 玉席稼始事納休集り生生授会薬生り名書業の事がなる。 学ン 乱者習ド 用面タボ 防談イ ムル 教ら 観 戦